

平成24年度当初予算 環境部主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額 (千円)	説明
1 省エネ・節電対策を始めとした地球温暖化防止の取組		
・ ④いしかわ版環境ISOの拡充・強化	18,200	④現行ISOの省エネ・節電項目を充実強化して取り組む「省エネ・節電アクションプラン」の推進 取組強化期間(7~9月)の実績報告に基づきエコチケットやエコギフトなどのインセンティブを付与 省エネ・節電に関する相談窓口の設置 など
・ いしかわエコスタイル推進事業費	2,200	温室効果ガスの削減に取り組みながら、快適で豊かな暮らしを実現する、いしかわエコスタイルの推進 4つのいしかわ版環境ISOの連携モデル地区(5地区)を認定し、共通のエコライフ活動を実践 活動例 グリーンカーテンづくり エコドライブ教室など
・ ④いしかわ住まいの省エネパスポート制度の運用開始	-	ドイツを中心にヨーロッパで普及している建物の省エネ評価手法を参考に、本県の気候風土に対応した住宅の省エネ性能を評価 評価方法 住宅の年間エネルギー使用量を5段階で評価 運用開始時期 平成24年4月
・ エコ住宅整備促進事業費補助金	25,000	省エネ性能の高い住宅(新築)、住宅の省エネ設備の整備(改修)に対する助成 対象 新築 いしかわ住まいの省エネパスポートで最高評価を得た住宅 改修 対象13品目のうち、3品目以上を導入した住宅(太陽光発電等を導入する場合は2品目以上) 助成額 新築 一律15万円 改修 対象品目毎に定めた額、または対象経費の5%のいずれか低い額(上限15万円) 太陽光発電等の設置には追加助成(上限10万円)
・ ④いしかわエコハウス機能充実事業費	3,000	断熱性能や省エネ効果等を解説する動画コンテンツの作成など
・ エコリビング普及促進事業費	4,900	設備(ハード)・住まい方(ソフト)の両面から住宅の省エネ化を促進 エコ住宅、エコ改修技術者の養成 エコ住宅改修マニュアルの普及講習会の開催 ドイツハム市エコセンターとの技術交流
・ 企業エコ化促進事業費	4,000	企業のエコ化、エコ関連産業への参入に向けた気運の醸成 いしかわエコデザイン賞の表彰 企業エコ化促進セミナーの開催
・ エコドライブ推進事業費	495	企業・民間団体と連携したエコドライブの推進 エコドライブ推進事業所の募集・登録 優秀なエコドライブ活動推進事業所の表彰

事業名	金額(千円)	説明
・ 地球温暖化対策支援融資	新規融資枠 2 億円	環境マネジメントシステムに取り組む中小企業者が実施する自然エネルギーの導入やオフィスの省エネ改修など、地球温暖化防止に資する施設・設備等に対する貸付融資限度額 50,000千円
・ いしかわの森整備活動二酸化炭素吸収量認証事業費	1,000	企業等の森づくり活動成果を評価のうえ、二酸化炭素吸収証書を発行
・ 小規模下水処理場メタン活用研究事業費	2,300	小規模・低コストのメタン発酵技術の実用化研究
・ 県民エコステーション事業費	20,076	地球温暖化対策活動の推進 いしかわ環境フェアの開催、いしかわ事業者版環境ISO制度の審査、エコクッキングの実践(県内2カ所)など 交流・活動支援 環境保全団体への活動費助成、フライブルクエコステーションとの友好交流、環境情報交流サロンの開設 環境教育の推進 県民環境講座の開催、講師の派遣 普及啓発 環境情報の提供、環境ライブラリーの整備、移動食器洗浄車の貸出し
2 環境負荷の少ない社会づくり		
(1) 循環型社会の形成		
・ ゼロエミッション推進事業費	5,100	廃棄物の排出量実態調査の実施 1,739千円 企業の廃棄物減量化の推進 2,315千円 3R(リデュース・リユース・リサイクル)取組み企業へのアドバイザーの派遣、優良産業廃棄物処理業者の育成、産業廃棄物適正処理推進講習会の開催など 自動車リサイクル法に基づく事業者の指導など 1,046千円
・ リサイクル型社会構築推進事業費	579	石川県エコ・リサイクル製品の認定 H23.4.1現在の認定製品 102製品(47企業)
・ 不法投棄等不適正処理防止対策事業費	14,851	産業廃棄物監視機動班による指導・監視 不適正処理防止に向けたパトロールの強化など (休日・早朝・夜間・県境合同路上検査など)
・ PCB廃棄物処理対策事業費	14,949	PCB廃棄物処理基金出捐金 14,250千円 独立行政法人環境再生保全機構の「PCB廃棄物処理基金」への出捐 基金総額560億円(国1/2 都道府県1/2) 北海道PCB処理事業に係る負担金など 699千円
・ 産業廃棄物処理推進費	7,050	産業廃棄物処理施設への立入調査・指導・放流水調査など 対象:190事業所(1~6回/年)
・ 海岸漂着物地域対策推進事業費	18,911	海岸漂着物の回収・運搬・処理
・ 産業廃棄物処理施設整備資金融資	新規融資枠 5 億円	中小企業者の産業廃棄物処理施設整備に対する貸付融資限度額 5億円(最終処分場) " 1億円(焼却施設)

事業名	金額(千円)	説明
(2) 生活環境の保全		
・ 地盤沈下等対策費	11,344	水準測量及び観測井等調査費 7,565千円 手取地域等地下水保全対策費 3,779千円
・ 水質環境基準等監視調査費	34,110	排水基準監視指導費 3,247千円 環境基準監視調査等費 24,341千円 地下水質監視等調査費 6,522千円
・ 飲料水安全確保対策費	2,753	飲用井戸の水質検査など
・ 河北潟水環境保全事業費	19,000	水質浄化技術の活用・効果検証、流入負荷対策の推進及び水辺植生の保全管理
・ 生活排水処理施設整備普及促進費	146,199	生活排水処理施設整備普及促進費補助金 市町実施の生活排水処理施設整備事業への補助 金沢市以下12市町
・ 農業集落排水事業費	275,664	既存施設の改築等 新規7地区 継続5地区
・ 流域下水道の整備	1,096,525	加賀沿岸流域下水道(梯川処理区) 295,684千円 加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区) 533,578千円 予 算 計 上 373,578千円 債務負担行為 160,000千円 犀川左岸流域下水道(犀川左岸処理区) 267,263千円
・ 県水送水管の耐震化(2系統化)	4,000,000	水道用水の安定供給と県民生活の安全・安心を確保するため、県水送水管の耐震化(2系統化)を実施
・ (新)鶴来浄水場の非常用発電機の整備	30,000	停電時における県水の安定供給の図るための非常用発電機の基本・実施設計
・ 大気汚染監視費	94,660	大気汚染監視網管理費 57,742千円 環境測定局 15局 自動車排出ガス測定局 1局 移動測定車 1台 大気監視測定機器整備費 35,406千円 有害大気汚染物質監視調査費 1,512千円
・ 酸性雨調査費	1,850	陸水、土壌・植生モニタリング調査、酸性雨実態調査
・ ダイオキシン対策費	8,252	常時監視の実施 一般環境調査 大気、公共用水域の水質・底質、地下水、土壌 発生源周辺地区環境調査 一般廃棄物、産業廃棄物焼却施設周辺環境調査
・ 化学物質等環境汚染対策費	2,349	化学物質の環境中残留濃度実態調査
・ アスベスト対策費	14,425	石綿健康被害救済基金への拠出 13,720千円 解体時等立入検査の実施 705千円
・ 環境影響評価審査費	997	「環境影響評価法」及び「ふるさと環境条例」に基づく 環境影響評価方法書、準備書の審査
・ 環境保全資金融資	新規融資枠2億円	中小企業者の公害防止、リサイクル関連等の循環型社会 づくりに資する施設・設備等に対する貸付 融資限度額 50,000千円

事業名	金額 (千円)	説明
3 世界農業遺産「能登の里山里海」の活用・魅力発信を始めとした里山里海の保全・利活用 ・ ④世界農業遺産活用推進・魅力発信事業費	13,000	生業の維持・創出に向けた里山保全・利活用や「能登の里山里海」の価値の再認識と共有に向けた取組を推進 ・ ④首都圏百貨店と連携した特色ある能登の製品の販売促進 1,000千円 ・ ④地域資源を支える能登の里山里海人の知恵や工夫を再認識・継承 1,500千円 ・ ④能登と佐渡の里山交流連携の推進 2,750千円 ・ ④世界農業遺産スタディツアーの本格実施 2,000千円など
・ いしかわ里山創成ファンド事業資金貸付金	1,000,000	地元金融機関協力のもと創設した53億円の里山創成ファンドの運用益に、民間企業からの寄附金も加え以下の事業を実施することで、元気な里山里海地域の創成を図る。(基金内訳 県10億円、地元金融機関43億円) 活用事業 ・ 里山里海の資源を活用した生業(なりわい)の創出 採択枠の拡充(H23:11件→H24:15件程度) ・ 里山里海地域の振興 地域を元気にするイベント支援、資源循環モデル構築による地域おこし、里山景観の創造 ・ 多様な主体の参画による里山保全活動の推進 ④里山ポイント制度の創設 里山保全活動への個人の自主的な参加を促すため、県や市町、里山づくりISO認証団体等が主催する保全活動への参加に対し、インセンティブを付与 ・ 里山里海の恵みの大切さについての普及啓発
・ ④里山のパートナーづくり推進事業費	6,000	企業等による里山づくりを促進させるためのセミナー・企業と里山の情報交流会の開催、都市住民による農村ボランティア活動の促進
・ いしかわ版里山づくりISO推進事業費	3,840	企業、団体、学校など多様な主体が取り組む里山里海の保全活動等を県が認証し、活動団体のネットワーク化を推進
・ 里山の森づくりボランティア推進事業費補助金	3,700	NPO、地域団体等が行う里山林等の保全活動に対する助成
・ 先駆的里山保全地区創出支援事業費	4,184	地域住民による里山の利用・保全の仕組みづくりへの支援(新規5地区)、先進事例を紹介するセミナーの開催など
・ 新しい里山創造人材育成事業費	2,800	里山地域と多様な主体を結びつけ、里山づくりをコーディネートする里山創造人材の育成
・ 子ども里山学習プログラム推進事業費	1,600	大学生が、いしかわ動物園等施設を活用し、子ども向け里山学習プログラムを作成・実施
・ いしかわグリーンウェイブ2012開催事業費	1,000	国際生物多様性の日(5月22日)にあわせた世界的な一斉植樹活動
・ ④いしかわ里山サウンドウェイブ事業費	2,600	COP10名誉大使であるMISIAをパーソナリティとした生物多様性普及啓発ラジオ番組の放送など

事業名	金額 (千円)	説明
<p>4 自然と人とが共生できる社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トキ分散飼育推進費 ・ 人と野生鳥獣との共生推進事業費 ・ 大型獣対策事業費 ・ 石川の種の保存事業費 ・ いしかわ自然学校推進事業費 ・ ㊦白山国立公園指定50周年記念事業費 ・ 白山県有施設緊急改修事業費 	<p>19,498</p> <p>3,314</p> <p>5,630</p> <p>2,567</p> <p>8,805</p> <p>3,000</p> <p>28,437</p>	<p>いしかわ動物園での飼育繁殖の実施</p> <p>クマによる人身被害やイノシシ・サル等による農林業被害を防止するため、野生鳥獣との共生を推進 クマ・イノシシ・サルの生態・分布等調査 サル・イノシシの保護管理計画の実施評価 里山での和牛放牧の実施 など</p> <p>クマ、ニホンジカの適正な保護管理及びイノシシ肉等の利活用促進 ・ 里山周辺での定着が疑われるクマの生息状況調査及び保護管理計画の改定 (第3期) ・ ㊦県内への侵入・増殖のおそれのあるニホンジカの生息状況調査及び保護管理計画の策定 ・ 狩猟捕獲を促進するため、イノシシ肉等の利活用の促進 (試食会、料理講習会、解体技術講習会など)</p> <p>条例に基づく県指定種の保護と普及啓発 指定種のモニタリング調査 緊急性の高い指定種の保護増殖事業 追加指定種の普及啓発</p> <p>自然体験を通じた環境教育を推進するため、民間団体等と協働し県内全域で多彩なプログラムを提供 インストラクタースクールの運営 6,430千円 各種プログラムの提供 2,375千円 白山まるごと体験教室、里山あそび塾等の実施</p> <p>国立公園指定50周年を迎える白山の記念イベントを環境省及び富山県、福井県、岐阜県等と、共同開催し、白山の魅力や自然環境の重要性を全国にアピール ・ 共同開催による記念式典 平成24年11月中旬 (予定)、自然公園功労者表彰、記念シンポジウム等 ・ 関連イベントの実施 (5~11月) 記念講演会、記念登山、自然観察会ほか</p> <p>利用者から要望の多い白山室堂宿泊棟トイレを改修</p>